

## 強い乳びが認められた新鮮凍結血漿-LR

小川 公代<sup>1)</sup> 飯島美穂香<sup>1)</sup> 関口 聡典<sup>1)</sup> 金澤 僚<sup>1)</sup> 大井 篤史<sup>2)</sup>  
森下 寛之<sup>2)</sup> 江連 雅彦<sup>2)</sup> 志賀 達哉<sup>3)</sup>

- 1) 群馬県立心臓血管センター技術部臨床検査課
- 2) 群馬県立心臓血管センター心臓血管外科
- 3) 群馬県立心臓血管センター麻酔科

キーワード：新鮮凍結血漿-LR, 乳び, 製剤管理

新鮮凍結血漿-LR (FFP) 融解後に稀に見られる白濁は食餌由来の脂肪成分が析出したものであり<sup>1)</sup>, 品質に問題はなく使用には差し支えないとされている<sup>2)</sup>. 血液センターでは濁度の高い FFP は凍結前に除外され製品化されていないが, 凍結融解することにより凍結前より濁度が増すことがある<sup>3)</sup>.

今回, ICU にて融解後に強い白濁を呈した FFP が品質異常の疑いで輸血部門へ返品された事例を経験した. 輸血部門にて再度 FFP の外観を確認し白濁は乳びと判断, 不適正温度での融解時に見られる沈殿物や凝集塊<sup>2)</sup>は認められなかったため, 有効利用の観点から使用に

至った.

製剤セグメントの血漿について, 乳びの主な原因である中性脂肪 (TG) を測定したところ 314mg/dl と基準値の 2 倍以上を示した. 患者の TG 値への影響は, 投与前 51mg/dl, 投与直後 75mg/dl と 24mg/dl 上昇した. 患者の体重 (68kg) から算出した理論上の予測上昇 TG 値は約 26mg/dl で実測上昇値と同程度であった. なお患者は前日及び当日の食事は未摂取であり検査値への食事の影響は無い. この強乳び製剤の使用による明らかな副反応は認められなかった.

著者の COI 開示：本論文発表内容に関連して特に申告なし



## 文 献

- 1) 小河英人, 金澤真由美, 松倉晴道, 他: 献血者の混濁血漿. 血液事業, 6 (1): 27-38, 1983.
- 2) 日本赤十字社: 新鮮凍結血漿 (FFP) の融解方法について. 輸血情報, 1810-163.
- 3) 本間稚広, 長谷川秀弥, 山本定光, 他: 新鮮凍結血漿の品質管理—白濁についての検討—. 血液事業, 11 (4): 549-551, 1988.

**FRESH FROZEN PLASMA-LR WITH STRONG CHYLE**

*Kimiyo Ogawa*<sup>1)</sup>, *Mihoka Iijima*<sup>1)</sup>, *Akinori Sekiguti*<sup>1)</sup>, *Ryou Kanazawa*<sup>1)</sup>, *Atsushi Ooi*<sup>2)</sup>,  
*Hiroyuki Morishita*<sup>2)</sup>, *Masahiko Ezure*<sup>2)</sup> and *Tatsuya Shiga*<sup>3)</sup>

<sup>1)</sup>Department of Medical Techniques, Gunma Prefectural Cardiovascular Center

<sup>2)</sup>Department of Cardiovascular Surgery, Gunma Prefectural Cardiovascular Center

<sup>3)</sup>Department of Anesthesia, Gunma Prefectural Cardiovascular Center

**Keywords:**

Fresh Frozen Plasma-LR, Chyle, Blood Products Management

---

©2022 The Japan Society of Transfusion Medicine and Cell Therapy

Journal Web Site: <http://yuketsu.jstmct.or.jp/>